

市町村災害廃棄物処理計画の策定について

近年、全国的に大規模な災害が頻発しており、一日も早い災害復旧を果たすためには、**災害廃棄物の迅速かつ円滑な処理が重要**です。

災害廃棄物の種類は可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、危険物など、多岐にわたるため、混合ごみの発生を防ぎ、**災害廃棄物処理の費用削減や期間短縮を図るためには、予め災害廃棄物処理計画を策定し、分別に係る周知方法や仮置場（候補地）などを決めておくことが必要**です。

1 災害廃棄物処理計画の概要

市町村が災害廃棄物処理計画を策定し、初動から処理までの流れを整理することにより、**迅速な廃棄物処理が可能**になる。

市町村災害廃棄物処理計画の主な項目

- 1 初動対応（組織体制・情報収集・窓口設置・仮設トイレ等）
- 2 応急段階（発生量推計・仮置場確保・分別収集（住民周知）・処理先の確保）
- 3 復旧段階（家屋解体・処理困難物・進捗管理）

2 災害廃棄物処理計画策定に向けた研修等

県では、全市町村において災害廃棄物処理計画が策定されるよう、国（東北地方環境事務所）と連携し、市町村への支援を行っている。

- (1) 「市町村災害廃棄物処理マニュアル～策定モデル例～」の作成・共有 ～県事業～
市町村情報（組織体制・仮置場（候補地）等）をはめ込むことで計画が策定できるひな形を作成し、平成 30 年 1 月に各市町村等あて通知済
- (2) 「災害廃棄物処理計画策定研修」の開催 ～県事業～
上記 (1) のマニュアルの活用方法を改めて解説し、市町村の負担が少ない計画策定を支援する研修の開催（令和 2 年度に 3 回開催予定）
- (3) 「計画策定支援事業（モデル事業）」の実施 ～国事業～
令和 2 年度は平泉町が採択されており、計画策定に係る支援が行われる見込

【参考】災害廃棄物処理計画を策定済の市町村：8 市町

（盛岡市、奥州市、釜石市、金ヶ崎町、遠野市、岩手町、紫波町、軽米町）

【岩手県環境生活部資源循環推進課 担当 佐々木、山口 電話 019-629-5367】

抜粋

市町村災害廃棄物処理マニュアル

(市町村災害廃棄物処理計画)

自治体名に変更

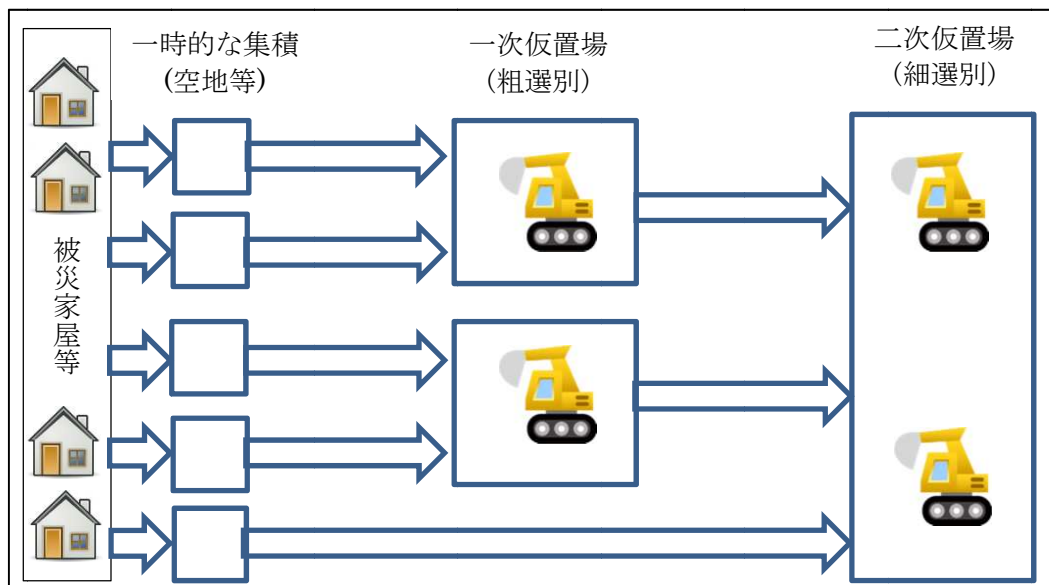
必要に応じて
削除

～策定モデル例～

削除

令和●●年●●月

●●市●●部●●課



仮置場の使用イメージ

仮置場候補地一覧

所在地 (地区)	候補地名称	想定面積	管理者	利用方法		避難 場所	備考 (土壌汚染等)
				一次	二次		

候補地を記載
行数は変更可能

< 仮置場の設置・管理・運営 >

- ・港湾地域など風が強い場所に仮置場を設置する場合は、災害廃棄物の飛散防止に留意する。
- ・住民が持ち込む災害廃棄物について、分別して置かれるよう誘導するため、大まかな品目毎の置き場に立札を設置するとともに、分別した少量の災害廃棄物（見せごみ）をそれぞれの場所へ置いておく。
- ・汚水が土壌へ浸透するのを防ぐために、災害廃棄物を仮置きする前に仮舗装の実施や鉄板・シートの設置、排水溝及び排水処理設備等の設置を検討し、汚水による公共の水域及び地下水の汚染、土壌汚染等の防止措置を講じる。

仮置場分別配置図

分別配置図を記載
図等の大きさは自由
に変更可能